

介護も育児も 「お互いさま」の心で働きやすく。



(福)桜井の里福祉会
理事長 柏原 雅史 さん

こんな取組を
推進しています!

- 1 **ストレッチ体操と腰痛予防ベルトで健康増進**
利用者に笑顔で接することができるよう
職員自らが健康への意識を高める
- 2 **金曜日はノー残業デー**
業務の見直しを行い、残業を減らす
取組。金曜日の朝会で徹底伝達
- 3 **有給休暇取得率70%を目指す**
「お互いさま」の気持ちで声を掛け合い、
有給休暇を取りやすい職場づくり

「もうひとつのわが家づくり」を理念とする当法人では、2015年に改定した就業規則に「お互いさま」の言葉を盛り込んでいます。介護事業に携わる仕事のため、職員の7割は女性。すでに産休・育休を取った職員、これから取得するであろう職員が「お互いさま」の気持ちで休暇を融通しあい調整できるような社風があり、それを文言にしました。「お互いさま」には、休暇だけではなく、施設や部署によっては夜勤の免除も含まれますね。女性職員だけではなく、男性職員も同じ意識を持っています。

女性職員の希望者全員が産休・育休を取得しています。数年前、初めて男性職員の育児休業取得がありました。30代の社員が、4人目のお子さんが生まれたのを機に半年間の育児休業を取ったのです。家族円満、価値ある休みだったのではないかと思います。次に続く職員はまだ出ておりませんが、男女を問わず休暇を取りやすい風土を醸成していければと考えています。

休暇に関しては、有給休暇の「計画的付与」が連続でも分割でも自由に年間最大で5日間取得できたものを、今年から6日間に増やしました。「お互いさま」の気持ちで、より有効に活用していただければと思います。

職員は利用者の尊厳を守りQOL(Quality of Life = 生活の質)を大事にするという熱い思いを持って仕事をしているのですが、それ以前に働く人のQOLが大切。当法人の働き方改革としてストレッチ体操など3つの柱を掲げました。腰痛ベルト購入には補助を行っています。また、2011年に結成された職場風土向上委員会と経営側との協議を進め、労協協調路線の中で現在50%台の有給休暇取得率を70%にあげるよう声を掛け合っています。

さらに、3Kイメージから介護職に就きたいと考える若い人が減るなか、ここで働く人がプライドを持ち、やりがいのある仕事で輝けるよう、今後もさまざまな施策を進めていきます。

介護職員のQOLを大切にする「働き方改革」を!

利用者様の介護にあたる職員こそ身も心も健やかに仕事ができるよう、桜井の里ではさまざまな取組を進めてきました。そのひとつが体操。就業時間中の5分間、部署ごとにオリジナルのストレッチ体操でリフレッシュ。車椅子の移乗や食事介助、入浴介助などで腰を痛めやすい職種であることから、「腰痛予防ベルト」購入の補助も行っています。



社会福祉法人 桜井の里福祉会

●所在地: 西蒲原郡弥彦村 ●業種: 医療・福祉 ●従業員: 443人

【業務内容】 県央地区、弥彦村、燕市内、新潟市西区赤塚の4拠点で46事業を展開する社会福祉法人。特別養護老人ホーム「桜井の里」「分水の里」に加え、各地できめ細かな地域密着型サービスを提供。



私たちはイクメン応援宣言企業です!

新潟県では、男性労働者が育児に参加しやすい職場環境づくりに積極的に取り組む企業を「イクメン応援宣言企業」として登録しています。

もっと詳しく知りたい方は

にいがたイクメン応援宣言

<https://niigata-ikumen.jp>

2019年2月発行